

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2024年 2月 29日

事業所名：GreenWood

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	時間帯で遊ぶ部屋と宿題をする部屋に分け、使用しているのでスペースは確保出来ている。子どもの気持ちを落ち着かせる時は部屋を仕切って、最低限の落ち着けるスペースを作っている。	『はい』が92% 『わからない』が8%です。 保護者の意見：室内に十分あります。	利用定員に対して基準は満たしている。
	② 職員の適切な配置数は適切であるか	職員の勤務調整を行いながら、適切な配置数で活動が出来ている。その日に来所する利用者、利用者同士の関わり、活動の内容に合わせて職員を増やしている。	『はい』が80% 『どちらともいえない』が9% 『わからない』が11%です。	職員の配置数基準は満たしている。新しく入られる職員が入社した際に、保護者への連絡をし、見える化していく必要があるのではないかと、今後検討する。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	玄関までに階段があり、バリアフリー化への配慮が滞っている。しかし、階段には手すりがついており、階段が苦手な子どもには職員が1人ついて対応している。設備に関しては今後利用者の特性に合わせて見直していかなければいけない。	『はい』が61%、『どちらともいえない』が23% 『わからない』が16% 保護者の意見：段差やドアが少ないので活動しやすい様です。	今後、保護者や利用者に沿った配慮が必要。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	月に1度共有MTで振り返りを行っている。活動前に職員同士で振り返りをする時間が増えた。しかし、活動後に個人間で話し合っていた事を全体に伝えていない。全体研修は参加している職員もいたが、その後振り返りを行い共通理解に繋げる事が少なかった。		今後は活動の振り返りで話した事、研修後の振り返りを行い、職員間で共通理解が出来るようにしていきたい。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	年に1度アンケートを行い、保護者の意向を確認している。保護者からの意向を把握し、業務改善に繋がれている。		今後も年に1度、自己評価を継続して行い、保護者からの意向を元に業務改善に繋がっていききたい。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	毎年HPの自己評価結果を公表するページを作成し、話し合った内容をPDFで公開している。しかし会報は作成していない。		今後も自己評価結果を、事業所のHPで公開していく。会報については、保護者に自己評価結果をHPにて公開している事を周知すれば必要ないと判断している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在は第三者評価を行っていない。今後外部評価を導入するのかが見当は必要。同一法人内での別事業視点からは意見を貰う時もあるが、他の事業所との関わりは少なかった。		第三者評価について今後の検討が必要。また近くの事業所と合同の研修を行う事で外部との関わりを持つことが出来る。外部講師や大学の教授等にきていただいて、合同の研修会を検討していきたい。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修機会を確保しているか	研修案内は回覧し、職員間での共有出来ている。また事業所内、外部研修に積極的に参加しています。		引き続き、個人で研修に参加できるような、研修の回覧を行う。法人の全体研修や事業所規模での研修にも積極的に参加していく。また年間で研修の計画を立てる事も検討する。
適切	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	保護者に学校や家での様子を面談や子どもの受け渡しの際に確認している。確認した上でニーズにあった計画を立てている。	『はい』が100%です。 保護者の意見：いつも保護者の話を十分に聞いて計画を立ててもらっています。	今後も継続してニーズに合わせてアセスメントを制作していく。また今年度は面談の中でトラブルが起きた。適切な表現方法か、言葉遣い、子ども目線のアセスメントになっているか等改善点は多くあった。改善しながらよりよいサービスを提供していきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
な支援の提供	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	現在は標準化されたアセスメントツールをしようしていない。		現在では使用しない。保護者が専門機関でアセスメントツールを使用した場合は、内容を面談等で確認して情報共有していく。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	来年度の年間計画を話し合って共有MTで情報共有をした。また日々の活動は非常勤含めて、事前に話し合いを行っている。		今後も継続し、活動の立案・情報共有を行っていききたい。
適切な支援の提供(続き)	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	予定表を作成する時点で、今までのプログラムを確認している。季節行事・制作・活動内容は変更して行っている。	『はい』が92% 『どちらともいえない』が8%です。 保護者の意見:色んなプログラムをしてもらっています。	今後も継続して固定化しない様にプログラムを作っていく。活動に意図を持って行っていきたい。子どもも1年毎に成長・発達しているので、成長・発達にあったプログラムを検討していく。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	平日に関しては個別支援計画に沿った支援をしている。休日には保護者と連携して支援出来ている子ども、出来ていない子どもがいる。長期休暇は保護者と話して子どもにあった支援をしている。		平日は個別支援計画で具体的に支援を決め、学校・家での様子を聞き取りして、課題を設定してきめ細やかに支援を設定している。今後もきめ細やかな支援を継続していく。休日は自宅で行う課題を決めているが、保護者との連携は足りていないのではないかと感じており、今後はより連携していききたい。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	面談はきちんと聞き取りを行っている。支援計画を作る時は、個別活動・集団活動を通して作成している。		今後も面談で子どもの様子を聞き取り、利用している姿・成長発達に応じて、利用者の課題を明確にした放課後等デイサービス計画を作っていく。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援開始前に一日の流れを打ち合わせしている。個別の支援や全体活動での動き方を確認している。		活動の打ち合わせをして、役割分担・支援内容を確認している。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	掃除の時間に非常勤の方と振り返っている。また支援開始前に、前回気付いた事や振り返りの時間を作っている。		今後は職員同士話をしていき情報共有を行って、振り返りや情報共有をしていく。風通しの良い職場を目指していく。
⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	日々の支援は個別記録に記入しており、正しい記録が付けられている。検証・改善は出ている時もある。支援が上手くいっていない時には見直しが出来ている。		現状記録が取れ、支援の検証・改善は適宜行えている。職員との情報共有をよりしっかりと行い、記録を取る様にする事は改善点になる。今後は職員ごとに役割分担をして、正確な記録を取っていく。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	半年に1かいのモニタリングをしている。聞き取りをして、前回の評価見直しを判断している。		今後も定期的にモニタリングと個々にあつて計画書作成の為に、適宜行っていく。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	自立支援、日常支援、創作活動は行っている。地域交流はしていきたいが、地域とのむずびつきは弱い。余暇活動の提供は子どものしたい事がしっかりできて、居場所作りができています。		今後もガイドラインに沿った活動を行う。地域交流に関しては幅を広げて検討していく。
関係機関との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	担当者会議は管理者が参加している。時間帯は夕方が多いので、管理者が参加している。現場の指導員から担当者会議前に聞き取りをして、会議に参加している。		現状引き続行い、参加が難しい時は情報共有して、利用者の情報を正しく伝えていけるようにする。
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	学校や保護者とお迎え時間の変更や行事等での時間変更を伺い対応している。また保護者に予定表を渡したり、教えてもらったりしている。トラブルが発生した場合はすぐに保護者・学校の先生に連絡後に対応している。		今後も継続し学校や保護者と情報共有を行い、連絡調整をしていく。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	該当する利用者は受け入れていない。		必要があれば体制、整備の検討を進める。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	利用していた施設との連携は出来ていない部分がある。面談やアセスメントの時に、保護者から保育所や幼稚園での様子の情報共有をしている。		今後、園との連携を検討していく。契約の際に、園での様子を伺い、また園に連絡を取り情報共有をすることを確認していきたい。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	現在は該当する利用者はいない。		今後は該当する利用者が出てくる。積極的に情報提供を行っていきたい。
㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	直接的な連携はしていない。専門機関で公開されている研修には積極的に参加している。社内研修は行っている。		専門機関の連携や外部の講師による研修について検討していく。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	②⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	活動の障がいのない子どもと関わる機会はない。法人内の別事業でキャンプやイベントを行っており、利用者にチラシを配り告知している。児童館等に行く機会は作れていない。	『はい』が19%、『どちらともいえない』が19% 『いいえ』が9%、『わからない』が53%です。 保護者の意見：生涯サポート兵庫のプログラムに参加すれば叶うが、習い事もあり、高額で参加したことがない。	今後児童館等、障害のない子どもと交流の機会がある場所へ行く事を検討していく。
	②⑦ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	参加はしていない。議事録は目を通している。		今後、日程調整が出来れば参加も検討する。
	②⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	迎いの引き渡しの際や連絡帳で、子どもの様子を保護者と情報共有させていただいている。面談で課題について共通理解を行うようにしている。	『はい』が100%です。 保護者の意見：連絡帳や口頭で伝え合っています。	今後も子どもの様子や課題について、共通理解が出来るように対応していく。
	②⑨ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	ペアレントトレーニングは行っていない。保護者からの子育てに関する相談には応じており、必要であれば専門機関と連携している。		ペアレントトレーニングは行っていないが、相談には個々で応じている。専門の講師による講座等の開催も検討したい。
保護者への説明責	③⑩ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	運営規定、支援内容、利用者負担等は、契約時に説明をしている。法改定などで変更点があれば説明を行っている。	『はい』が100%です。 保護者の意見：ありました。	今後も丁寧な説明をすることを心がけていく。
	③⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	相談があった場合は、必要な助言・支援を行っている。気になることがあれば保護者に声掛けを行っている。必要あれば専門機関や学校などと連携して対応している。	『はい』が100%です。 保護者の意見：定期的に行われています。	今後も保護者からの子育ての悩み等に適切に対応していきたい。
	③⑫ 父母の会の活動の支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	現在は行っていない。	『はい』が20% 『どちらともいえない』が23% 『いいえ』が23% 『わからない』が34%です。	保護者会は現在は行っていない。保護者参加のプログラムや研修会等を検討していく。
	③⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情に対しての体制は整備出来ている。苦情への対応はマニュアル化されており、マニュアルに沿った対応をしている。苦情が入った時には管理者・上長にすぐに連絡し、迅速に対応している。	『はい』が73% 『わからない』が27%です。	今後もマニュアルを元にした迅速な対応を行う。
	③⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	会報は発行していない。活動概要や行事予定は予定表を配布している。ブログにて活動の様子を伝えている。緊急時の連絡については契約時に伝えている。	『はい』が69% 『どちらともいえない』が1% 『わからない』が30%です。	今後もブログや手紙等で活動の様子や予定を伝え、連絡体制など定期的に確認することも行っていきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
連携支援	③⑤ 個人情報に十分注意しているか	個人情報の取り扱いには十分注意しており、個人情報が書かれている書類は鍵付きの棚に保管している。またブログに掲載する写真は個人が特定できない様にし、事前に同意書に記入してもらっている。また決まった職員のみ写真を取っている。	『はい』が96% 『わからない』が4%でした。	今後も個人情報に配慮しながら、書類の管理やブログに掲載する写真を取り扱っていく。
	③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	利用者はホワイトボードや写真・絵カードを使い、特性に合わせて意思疎通が出来るように配慮している。保護者には電話以外に口頭だけではなくメモ渡すことや情報伝達ツールを使って対応している。	『はい』が96% 『わからない』が4%でした。	今後も利用者の個々の発達や特性に合った配慮を行う。保護者とも連絡漏れがないように情報の伝達方法には配慮する。
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	地域住民の方を招待する活動は行ってはいないが、事業所外の方も参加する法人主体のキャンプ事業は行っている。		今後、地域住民の方と交流について検討を重ねていく。
	③⑧ 緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	マニュアルを作成し、保護者には契約時に避難場所や連絡方法等を周知している。職員は避難訓練や研修を通して周知している。	『はい』が88% 『どちらともいえない』が4% 『わからない』が8%でした。 保護者の意見:説明を受けました。	緊急時の対応について定期的に周知していく。新規職員や非常勤職員なども含めてマニュアルの周知について徹底できるようにしていく。
非常時等の対応	③⑨ 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年に2回、地震・火災の訓練を行っている。その際に保護者への引き渡し場所や避難経路、公衆電話の場所等を確認している。	『はい』が92% 『わからない』が8%でした。 保護者の意見:訓練をした報告を受けました。	今後も規定の年に2回以上の訓練を行う。洪水時の避難について、高い建物以外で山や高台など徒歩圏内で避難できる場所を検討する。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	研修は年に1回以上の事業所内で虐待防止の研修を実施している。外部の研修も職員間で周知して積極的に参加をしている。		今後も定期的な研修を実施し、外部の研修も積極的に参加する。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	現在は対象の利用者はいない。身体拘束について契約時にやむを得ず行う場合の条件や計画書の記載について説明を行っている。		引き続き身体拘束の事例を元に職員間で検討を重ねること、事業所内外で研修を受ける機会を確保していく。対象の利用者が利用する場合に備えて初期対応などを確認しておく。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応がされているか	食物アレルギーに関しては、利用前にアンケートを取り、保護者から情報提供を受けている。個々の程度によっては診断書を頂いている。		より安全に過ごすために指示書については検討を重ねる。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
④③	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有しているか	ヒヤリハットが起こった場合、口頭での情報共有や対処や改善は行えているが、他の業務が優先になり、文書での事例作成はすぐに取り掛かれていないことがある。		業務について改善を検討しつつ、取り組み方についての見直しも行っていく。